

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-12



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者から「学食めぐり」をテーマに取り上げて欲しいとの要望がありました。最近是一般の人も食べられる学食が増えていますので、新シリーズとして東京にある大学キャンパスの学食をめぐり・紹介します。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。食べたいメニューが複数あり、複数回、足を運ぶこともあります。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です

前章に続き、日本大学の学食めぐりです。大学本部は千代田区の九段にありますが、学部ごとに校舎が点在していますので、どこを訪問しようかと迷ってしまいます。

今回は世田谷区にある学部の学食です。メニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないように注意です。最寄り駅は代表例です。

大学概要は前章その-11 を参照ください。

【日本大学 文理学部】 世田谷区桜上水 3-25-40

最寄り駅 京王線 下高井戸駅

明治 34 年（1901 年）設置の高等師範科が前身です。昭和 12 年（1937 年）現在地に世田谷校舎（現文理学部 1 号館）を設置。昭和 33 年（1958 年）理系の学科を設置、文理学部と改称。現在は人文系 6 学科、社会系 6 学科、理学系 6 学科があります。「文」と「理」の融合を特色として教育と研究を行い、複合学部のメリットを活かし総合的・学際的（学問や研究が複数の異なる領域にまたがる）教育を基礎に教養教育と専門教育を有機的に結び付ける教育を実施しているとのこと。

かつては高等師範学校や旧制高等学校の流れを組む文理学部は国公立大学を中心に存在していましたが、1970 年代以降、教育

学部・文学部・理学部など相次いで分化・改組され、現在はその流れを組むのは日本大学文理学部だけとなっているとのこと。下高井戸駅から日大通りを進むと、左手にあります。高層の新しい校舎が建つ中、正門と1号館（写真下左）は昔の雰囲気を感じ出しています。正門を入り左手に第2体育館（写真下右）があり1Fに食堂チェリーがあります。銀座スエヒロが運営とのこと。



プリペイドカードを購入し、注文品のカウンターにある機械にカードを入れると代金が差し引かれます。カードの残額は帰りに購入時の機械に入れると返金される仕組みです。500円のカードを買い、写真下左のチキンカツ480円をいただきました。付いているライスは小150g、中200g、大300gが選べます。写真は小です。窓の外は日大通りの桜（写真下右）が眺められました。



学食はこの他に第2体育館B1Fに食堂さくらと福松食堂（写真右）があります。券売機のメニューをみると定食・丼は400円台、麺類は200円台と格安です。





3号館（写真上左）には学食 秋桜（コスモス）がありますが、春休み中なので3月末まではプレオープンでした。理工学部で食べた250円のラーメンがありました。

〔日本大学 三軒茶屋キャンパス〕

世田谷区下馬 3-34-1

最寄駅 東急園都市線 三軒茶屋駅

三軒茶屋駅南口から少し先の商店街を左折し、下馬二丁目郵便局の先を右折すると交差点に平成28年（2016年）6月に開設した新キャンパスがあります。スポーツ科学部と危機管理学部があります。スポーツ科学部は競技スポーツを実践する選手、それを支える一流の指導者やコーチ、スポーツに関連する幅広い分野に活躍出来る人材を養成し、社会に送り出すことを目的にしています。体育の先生は文理学部で養成されますが、こちらはトップアスリートと指導者の養成です。2018年開催の韓国平昌冬季オリンピックでのメダリスト 原大智選手、平野歩夢選手は在校生です。

危機管理学部は社会や国レベルの危機管理について研究・管理する新しい学部です。

世田谷の住宅街にあり、「地域に開放・共生・人にやさしい」をイメージした開かれたキャンパスとのこと。学食スペース（写真下左の建物の右側1F）は一般の人に開放されています。新しく、清潔感溢れた食堂でした。





受付で氏名と電話番号を記入し、入館証を受け取ります。
券売機でトリ照りマヨ丼 400円を買い、美味しくいただきました。

今回は 学食をひと休みして 東京の桜 2018 です。

平野 寅次郎 拝